

平成31年度 朝倉市の区会長を紹介します

地区の代表として、市と市民のパイプ役となり、地区のお世話をさせていただく、朝倉市の新しい区会長を紹介いたします。1年間よろしくお願ひします。(敬称略)

☎ 市総務財政課文書法制係 ☎ 28-7597

上秋月地区	
田代	牧草敏雄
山見・仲仁鳥	原田明慶
仁鳥・日向石	萩田豊
長谷・川端・首淵	梶原孝行
出町・浦泉・野添	寺濱博之
中村・光月・片峯	内野廣美
小原・弓削	馬場直實
松丸・原田	内田利美
下戸河内	山崎広幸
秋月地区	
上野鳥	内田嘉次
下野鳥	小室容久
浦泉	内田秀美
今小路	林みつ子
魚町	木下潤一郎
秋月中町	高木久助
新富	井上信之
石原	廣澤量文
安川地区	
長谷山	秋吉孝治
女男石	中山善博
千手	森田義治
甘水	山崎善勝
楢原	太田眞博
隈江	山下敏昭
下淵1	水上豊
下淵2	栗野永伯
持丸	近藤雄三
馬田地区	
牛木	手柴啓司
千代丸	武田勝明
東田	高着土良
馬田	柴田裕隆
上浦	瓜生光男
下浦	草場昭教
草水	八尋信義
中原	早野秀樹

甘木地区	
水町	高崎道英
旭町	上野春樹
菩提寺	薙野隆二
琴平町	杉剛二
七日町	上野隆
八日町	松岡正博
八幡町	釜堀正勝
馬場町	江藤八州徳
三福町	石井英利
本町	徳田重美
四重町	平田一博
四日町	平井周作
上新町	久保雅裕
下新町	佐藤一伸
恵比須町	塚本庸人
県営恵比須団地	西春枝
山領町	佐野雄次
高原町	田中又博
庄屋町	石原勉
上二日町	興膳浩
下二日町	花野博
川端町	倉掛由助
川原町	佐藤孔晴
天神町	玉城正徳
横内町	西依信幸
泉町	花田眞嘉
新河町	尾畑吉彦
神田町	栗野種義
双葉町	窪山保則
大内町	内田壽雄
後藤町	丸林健二
立石地区	
相窪	松岡芳實
柿原	岩村直實
堤	床嶋春樹
来春	熊谷伊佐美
一木	窪山俊行
頓田	近澤次男
古賀	草場清美
柿添	安武恒彦
一木団地	木下一成

福田地区	
鳩胸	金子義郎
小田本村	松尾彰
春	西田富重
小田正信	小島與志博
小隈	西村正男
平塚	永露貞雄
中寒水	山見益雄
倉吉	原野幸男
白鳥	高崎清弘
蟻城地区	
林田・鎌崎	羽野幸一
金丸	三笠幸雄
徳淵	田中 学
八重津	木下光信
下長田	荻野親
町	荻野薫敬
藤島	羽野健二
中小路	渡邊孝廣
上畑・楓	久保山義親
中	空閑久子
片延	秋吉孝一
鶴木	西勇人
四郎丸	手嶋浩
古江	椿富生
坂井	田中一夫
三奈木地区	
上三奈木	諫山博
川原	梶原政之
下三奈木	手嶋博行
角枝団地	桑野勝利
下万願寺	池田元博
長畑	深見正
十文字・櫛畑	綾部久志
上櫛畑	森山一
久保鳥・六本松	石橋政信
城	篠原一美
荷原	手嶋益美
矢野竹	橋本博之
屋形原	田中正浩
板屋	内田洋純

金川地区	
上屋永	釜堀庄司
西屋永	山田登
下屋永	牟田太三
桑原	内田市郎
田島	水城守隆
中島田	近藤安男
牛鶴	坂本信康
高木地区	
宮園	薙野駒夫
馬場	林伊三美
北小路	淵上淳
疣目口	杉本太
元の目	秋吉正榮
佐田田代	手嶋洋一
木和田	安陪廣重
安谷	手嶋源五
地	手嶋隆之
藪	手嶋貞文
仏谷	月俣博文
西原	手嶋善次
美奈宜の杜地区	
美奈宜の杜1	古川晴喜
美奈宜の杜2	渡邊憲治
美奈宜の杜3	河邊年和
宮野地区	
山後	大田末宣
上須川	星野幹雄
尾西	岩下久男
来光寺	田中英希
長安寺	矢野明
下須川	加藤定美
八坂	高本謙二
立野	井上裕之
中宮野	坂田勝利
落合	高山利美
下町	井上俊壽
上比1	池田高德
上比2	内田進
下比	古賀大資
新道	櫻木和弘
烏集院	野村和生

朝倉地区	
恵蘇宿	宮井雄司
山田	久保山美智男
菱野	大内田昭生
三島	林照規
久重	林康男
下古毛1	熊谷俊雄
下古毛2	池田和正
下古毛3	田中章夫
大福地区	
西入地	上村庫史
東入地	丸林昭男
入地中町	菅原克彦
東中町	村上朱実
多々連	江藤清
田中	江藤憲一
上寺	重光清士
東長淵	植田俊穂
西長淵	鳥居美春
上の原	鶴田廣明
乙王丸	大内田好広
善光寺	本田英明
十文字	久保田努
三寺	田中謙二
中央	調浩一
小塚	矢野一彦
大角	師岡克行
余名持	徳永富士夫
立出	佐藤正明
石成	大熊誠二
松末地区	
池ノ迫	熊谷隆
星丸正信	熊谷克壽
瀬ノ口	伊藤十平
立	梶原一徳
真竹	林弘道
小河内	中村亨
松末本村	樋口茂喜
石詰	井手義信
中村	田中賢徳
乙石	佐藤達美
赤谷	井上敏朗

杷木地区	
穂坂	岩本建明
林田	吉岡昭夫
東林田	林新吾
西林田	馬田敏郎
新浜	手嶋範道
白木	石井博喜
上池田	井手信一
下池田	熊谷亮一
杷木上町	山本正文
東町	井手昭典
中央通	武田耕次
西町	平木康善
下池田住宅	森田重夫
大山	金子眞三
久喜宮地区	
古町	原田始
久喜宮上町	足立恵純
久喜宮中町	吉田隆博
新町	高島三信
久喜宮原鶴	切通章利
若市	石井憲則
上げ	梶原茂美
杷木古賀	池田伸一
寒水	満生直樹
浜川	中川競一
志波地区	
志波上町	縄田淳一
志波中町	後藤達也
下町	小野孝志
宮舟	梶原宏一
高山	小林敏生
志波原鶴	秋吉秀保
塚原	田中憲一
尾迫	吉瀬利光
梅ヶ谷	田竈武彦
道目木	梶原壽則
平榎	日野和広
松葉	宿里和弘
政所	畑和敏
笹尾	三宅明
杉馬場	佐々木三男

医療費適正化
×
「節薬」

医療費適正化対策

重複服薬を見直そう



厚生労働省によると、平成29年度の医療費は42・2兆円となり、前年度から約0・9兆円の増加。内訳をみると、調剤7・7兆円（全体の18・3%）となつています（厚生労働省「平成29年度医療費の動向」概算医療費の年度集計結果）。今回は、私たち一人ひとりができる、医療費適正化の取り組み「節薬」について紹介します。

重複服薬とは？

重複服薬とは、同じ効能の薬を複数の医療機関で処方されて服用することです。



重複服薬するとどうなるの？

体への負担増加

同じ効能の薬を重複することで、逆に体の不調を招くことになりかねません。また、服用する薬が増えれば増えるほど、副作用のリスクが高まります。医療費の負担増加

複数の医療機関を受診し、同じ効能の薬を複数処方されれば、その分の医療費を無駄にすることになります。さらに、国保財政や加入している医療保険財政の負担が大きくなります。

重複服薬を見直すために

「お薬手帳」と「かかりつけ薬剤師・薬局」をもちましょう

①お薬手帳は体の履歴書
1冊にまとめましょう

お薬手帳は、あなたが使っている薬を安心して服用するために記録をすする手帳です。病院で処方された薬を記録するだけでなく、服用後に体調変化があったときや、自分で購入した薬などを飲んだときに記入する習慣をつけると、自分の体の履歴書のような役割を果たし、医師や薬剤師が治療に関わるうえで、重要で欠かせない情報

となります。

しかし、医療機関や薬局ごとに手帳を分けてしまうと、情報が分散されてしまい、医師や薬剤師が正確な判断をしにくくなるので1冊にまとめましょう。

さらに、お薬手帳は診察・薬の購入時だけでなく、災害などの緊急時に備えて常に携帯しておく、いざというとき安心です。

②かかりつけ薬剤師・薬局は身近な相談役

薬剤師は、処方された薬の説明だけでなく、処方箋のいない一般医薬品やサプリメントを購入するときにも気軽に相談できます。

さらに、病気や健康づくりについても幅広い知識を持っていますので、薬歴などの記録をもとに適切なアドバイスをしてくれます。

また、薬局では、調剤した一人ひとりの処方歴、体質、アレルギー歴、副作用などを記録し、一定期間保存しています。かかりつけ薬剤師や薬局があれば、複数の医療機関を受診することで起こる重複

処方や、危険な飲み合わせの有無をチェックすることができます。

おくすり相談バッグで残薬を節約

市では、朝倉薬剤師会と連携し、平成28年度から「おくすり相談バッグ運動」に取り組んでいます。

自宅に飲み忘れてしまった薬があれば、「おくすり相談バッグ」に入れ、お薬手帳と一緒に薬局へ持って行ってください。薬剤師が薬を確認し、処方された薬と調整できる場合があります。調整して処方された薬が減ると、薬代も少なくなります。

おくすり相談バッグ運動による医療費削減効果

おくすり相談バッグの活用による残薬・重複薬の削減額は、平成28～30年度実績（各6カ月間）で、朝倉市の国民健康保険、後期高齢者医療保険の合計で、約708万円（総医療費）の

【朝倉市（国保・後期高齢者医療保険）総医療費における削減額】

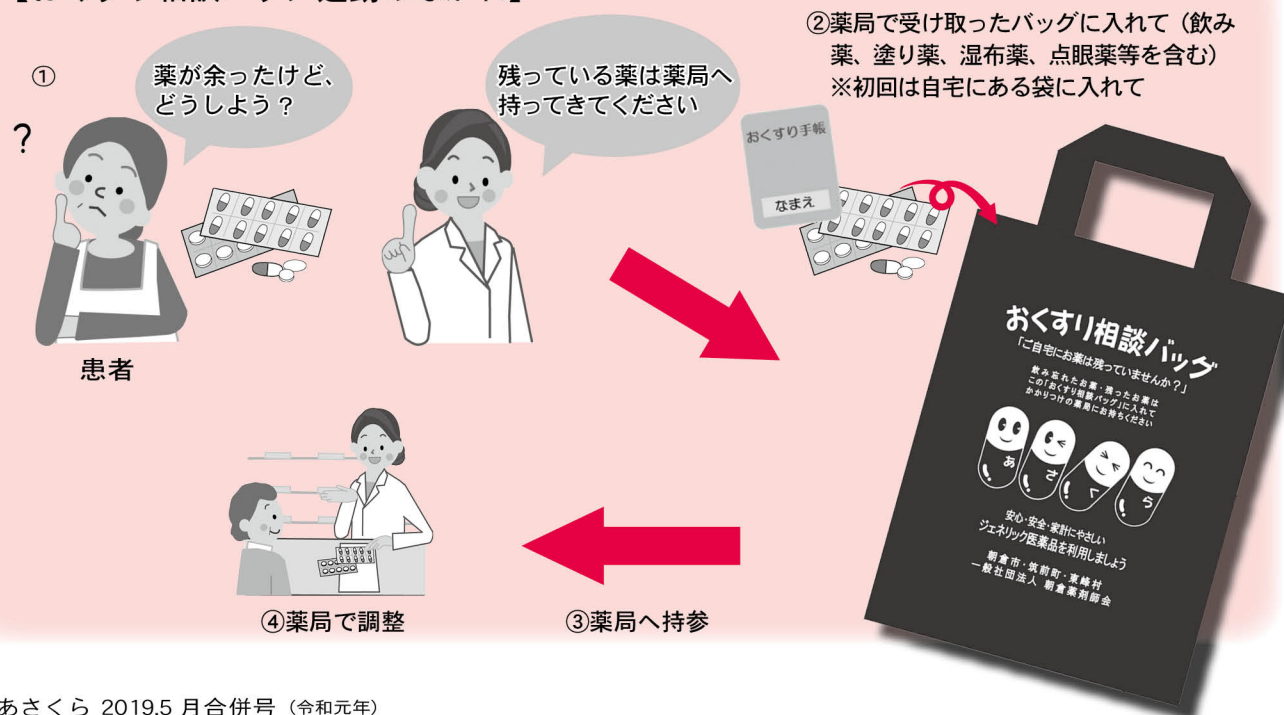
	国民健康保険		後期高齢者医療保険		削減額合計
	件数	削減額	件数	削減額	
平成28年度	387件	92万円	606件	154万円	246万円
平成29年度	374件	87万円	694件	142万円	229万円
平成30年度	368件	85万円	700件	148万円	233万円
合計					708万円

※金額は実績6カ月間の集計

節約につながっています。一人ひとりが「節薬」を心がけることが、健康と医療費削減につながっています。おくすり相談バッグは、朝倉薬剤師会加盟の薬局で配布しています。ぜひ、活用して「節薬」に取り組んでみてください。

問 市保険年金課（☎28-7558）

【おくすり相談バッグ運動のながれ】



おくすり手帳

☑思い当たることはありませんか？

- 一つでも当てはまる人は重複服薬の可能性あるかも知れません。
- 複数の医療機関で薬を処方されている
- お薬手帳をもっていない
- かかりつけ医、かかりつけ薬局（薬剤師）をもっていない

